

天竜区にも広がっているね!! ユニバーサルデザイン



ユニバーサルデザイン (UD) ってなぁに？

まち・もの・しくみをつくる時に、みんなが暮らしやすいように、いろいろな立場の人のことを思いやって考えることを“ユニバーサルデザイン”と言います。

ユニバーサルデザインによる だれもが暮らしやすいまちづくりの工夫は、皆さんが住んでいる地域にも広がっています。特別な人のためではなく、みんなが便利になる工夫を紹介します!!

●わかりやすく伝える工夫もユニバーサルデザインです!!

○施設案内表示



(道の駅 いっぴく処 横川)

絵文字を大きく表示してあるので、一目で何があるのかわかります。外国人にもわかりやすいですね。

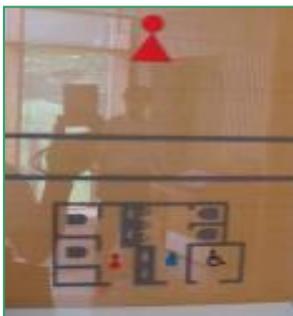
○多言語表記の看板



(天竜区役所)

より多くの人を読めるように、漢字、ひらがな、英語、ポルトガル語の4種類で表示しています。

○案内表示板



(春野福祉センター)

普通の案内表示板のようですが、触ってみると凸凹がついていて、トイレの配置がわかります。目が不自由な人の事も考えています。

○室内表示と音声案内システム



(春野福祉センター)

施設内の各所に、点字を使った案内表示があります。また、各階に音声案内システムを設置しています。

○外国語版パンフレット (英語版)



(秋野不矩美術館)

外国人にも楽しんでもらえるように、外国語版のパンフレットを作成してあります。

○電光掲示板



(天竜区役所、天竜壬生ホール)

館内で行われる催し物の案内を、電光掲示板で表示しています。

●みんなが使いやすい施設づくりが広がっています。

○自動車乗入れ用スロープ



(春野福祉センター)

高齢者や障がい者にも利用しやすい工夫として、玄関前まで車を横付けできるように、スロープを設置してあります。

○広い駐車場



(水窪総合体育館)

駐車スペースが広いので、安心して車を停めることができます。緊急時にはヘリポートにもなります。

○段差のない入口



(道の駅 花桃の里)

トイレの入り口には段差がなく、車いすでも入ることができます。また、視覚障がい者誘導用ブロックも設置されています。

○自動ドア



(秋野不矩美術館)

出入口の扉は、荷物を持った人や身体の不自由な人でも出入りしやすいように、自動ドアとなっています。

○視覚障がい者誘導用ブロック



(水窪協働センター)

視覚障がい者誘導用ブロックをたどると、出入口から一番近い窓口まで行けるようになっていきます。

○総合案内



(天竜区役所)

正面玄関を入ると、目の前に総合案内があります。区役所を利用する人が困らないように、受付係が丁寧に案内します。

○ローカウンター



(天竜区役所)

窓口には、座って話しができて、車いす使用者や子どもにも利用しやすいローカウンターが設置されています。

○エレベーター



(天竜区役所、春野協働センター、二俣協働センター)

扉に窓がついていることで、乗り降りする時にぶつかる心配がありません。中の様子がわかるので、防犯面でも安心です。

●多くの人が集まる施設には、いろいろな配慮があります。

○車いす観賞エリア



車いす使用者が、自分の車いすに座ったまま、講演等を楽しむことができるように工夫されています。

(佐久間歴史と
民話の郷会館 大ホール)

○点字案内



視覚障がい者が安心して階段を利用できるように、手すりに点字案内が設置されています。

(天竜区役所、水窪文化会館)

○ベンチ



館内で休息を取りたいとき等、どなたでも座れるように高さの低いベンチを設置してあります。

(天竜壬生ホール)

○幅の広い通路



車いす使用者や高齢者等が出入りしやすいように、傾斜を抑えたスロープや幅の広い通路となっています。

(佐久間歴史と民話の郷会館)

●体の不自由な方や妊婦さん、親子連れにも優しい工夫がいっぱいです。

○思いやり駐車場



車いすの乗り降りやベビーカーの積み下ろしなどで、広いスペースを必要とする人のためにつくられた駐車場です。

(天竜区役所、春野協働センター
二俣協働センター)

○多機能トイレ



引き戸の扉や洋式トイレは、誰にとっても便利です。オストメイト対応トイレ設備やベビーベッドも設置してあります。

(天竜区役所、二俣協働センター)

青谷ポケットパーク)

※オストメイト…人工肛門や人工膀胱を付けている人

○授乳室



乳児のいるお母さんが安心して授乳できるように、授乳室が設けられています。

(天竜区役所、春野協働センター)

○ベビーカーの貸出



小さな子ども連れの家族が楽しく館内を鑑賞できるように、ベビーカーの貸出を行っています。

(秋野不矩美術館)

●このような工夫や施設づくりもユニバーサルデザインです。

○室内スロープ



(春野福祉センター)

手すりの最後にタオルを巻きつけることで、スロープの終わりがわかるように工夫されています。

○乗用モノレール



(天竜区内)

急斜面のため道路がつけられないところがあり、最寄りの道路から日用品等を運ぶことができます。

○図書返却用ポスト



(水窪文化会館、水窪図書館)

図書館が休館の時でも図書の返却ができるように、返却ポストを設置してあります。

○自治会集会施設



(生島集会所／龍山町)

スロープや車いす用駐車場を設けていることで、より多くの人々が利用しやすい施設となっています。



まだまだ広がるユニバーサルデザイン

もっと暮らしやすい天竜区になるように、さまざまな利用者のことを考えたユニバーサルデザインの工夫が広がっています。今回紹介した工夫はほんの一部ですので、他のユニバーサルデザインも探してみてくださいね。



心のユニバーサルデザインも大切です

ユニバーサルデザインには、まわりの人を思いやるやさしい心がけや行動も含まれます。一人ひとりが、思いやりの心（心のユニバーサルデザイン）を持てば、みんなが暮らしやすい天竜区になりますね。

『ハード（施設・設備）』＋『ハート（思いやりの心）』で、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていきましょう。

**浜松市では、「思いやりの心が結ぶ優しいまち」の実現を基本理念とし、
ユニバーサルデザインによるまちづくりに取り組んでいます。**

ユニバーサルデザインについてのお問い合わせは、下記窓口へどうぞ

☆浜松市 天竜区役所 区振興課

電話：053-922-0011 / FAX：053-922-0049

メール：tn-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

☆浜松市役所 市民部 ユニバーサル社会・男女共同参画推進課

電話：053-457-2364 / FAX：053-457-2750

メール：ud@city.hamamatsu.shizuoka.jp



浜松市のユニバーサルデザインシンボルマークです。